

令和3年度 秋葉区組織目標

組織名	秋葉区	部長	秋葉区長 夏目 久義
組織の目的・方向性	秋葉区では、区ビジョンまちづくり計画や地域福祉推進計画に基づいて、時代の潮流を踏まえつつ、区の将来像である「花と緑に囲まれた、笑顔咲きそろう、にぎわいのあるまち」を実現するため、秋葉区の特性を生かしたまちづくりを推進します。		

秋葉区組織目標

秋葉区では、産学官・地域等と連携してまちの活性化と人材(人財)育成を進めるとともに、区民の地域への愛着や誇りを育み、地域資源を生かして交流人口や定住人口の拡大を図ります。

この方針のもと、今年度は次の4つの目標に重点的に取り組みます。

重点目標

- 1 産学官及び地域等と連携し、まちなか活性化や健康づくり、里山の魅力発信、人材(人財)育成等に向けた主体的な取り組みを進めるとともに、アキハスムプロジェクトの理念に基づき、秋葉区の特性或魅力をブランド化し、戦略的に発信することにより、地域アイデンティティの醸成を図ります。地域主体による移住・定住促進の支援や、市民活動に取り組む新たな人材(人財)を発掘・育成することで、地域・住民主体による魅力あるまちづくりを進めます。
- 2 住民主体の地域活動の深化に向け、コミュニティ協議会と協働で地域課題の解決や地域づくりを推進します。安心安全なまちづくりのため、区民と協働して防犯対策に取り組めます。
- 3 「秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画」の理念を広く区民に周知・普及し、地域住民や関係機関と連携・協力することで、健康づくりや福祉課題を解決する取り組みの支援と活動を推進します。地域包括ケアシステムによる生活支援として、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、継続的な支援と仕組みづくりに取り組んでいきます。
- 4 里山の魅力発信や里山と結びつけたまちなかの活性化、次世代につながる環境教育を行います。また鉄道、花と緑、史跡など恵まれた地域資源を活かし、秋葉区の交流人口の拡大を図ります。

※重点目標における指標や取組状況は、各課組織目標をご覧ください。

評価

取組結果	重点目標の達成状況	目標数	4	達成数	

今後の方向性

--

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 0250-25-5451

年度	2021		
組織名(部)	秋葉区役所	組織名(準部・課・機関名)	地域総務課
組織の目的	安全な秋葉区、地域アイデンティティあふれる秋葉区、“持続可能なまち”秋葉区を目指して、所掌事務を発展・展開し、取り組んでいきます。		

作成日	令和3年4月1日
修正日	
評価日	

No.	部 区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標					補足・参考指標	目標達成状況	評価
				項目(単位)	H30実績	R1実績	R2実績	R3目標			
1		産学官及び地域等と連携し、新潟薬科大学が持つ知的資産と学生の感性やパワーを積極的に活かし、まちなか活性化や健康づくり、里山の魅力発信、人財育成等に向けた主体的な取り組みを進めます。	・まちなか活性化実行委員会の開催 産学官連携による人財(学生)育成	新規事業及び事業改善数	-	-	-	1		・関係機関等との調整、事業の進行管理	
2	1	「アキハスムプロジェクト」の理念のもとで、秋葉区の特性や魅力をブランド化し、戦略的に発信することにより、地域アイデンティティの醸成を図ります。地域主体による移住・定住促進へ向けた取り組みを支援するとともに、市民活動に取り組む新たな人財を発掘・育成することで、地域・住民主体による魅力あるまちづくりを進めます。	・秋葉区ブランドや魅力の発信 ・秋葉区移住体験ツアー ・移住モデル地区等への支援	県外からの移住世帯数	-	-	0	1		・地域主体による魅力発信や移住者受入体制整備を支援 ・HAPPYターンモデル指定 小須戸地区(H29年11月) 金津里山地区(R1年11月)	
			・新たな人財の発掘育成 ・教育懇談会の開催	取組み実施の件数	5	5	5			・まちづくりに係る企画への支援等	
3		住民主体の地域活動の深化に向け、コミュニティ協議会と協働で地域課題の解決や地域づくりを推進します。	・地域課題の解決策や区政の取り組みをテーマに、区長との意見交換を中心とした地区懇談会の開催	地区懇談会開催回数(回)	11	11	11	11		・地域からの課題をもとに意見交換	
4	2	安心安全なまちづくりを推進するため、区民との協働により、防犯対策に取り組めます。	・青色回転灯を装着した自動車「青バト」による定期的な防犯パトロールを行います。併せて、青バトを行いながら、「新型コロナウイルス感染拡大防止のための啓発」や、「交通安全の啓発」も行います。 ・区民と協働し、安心安全なまちづくりを推進するため、防犯パトロール実施団体の募集を定期的に行います。	「青バト」による防犯パトロールの実施回数、防犯パトロール実施団体の募集	-	-	・青バトを計74回実施 ・区だよりによる実施団体の募集2回(7/19号、1/17号)	・青バトの実施 月4回以上 ・区だよりによる実施団体の募集 年2回以上		R2年中区内の刑法犯総数244件 “ 犯罪率3.2件 (8区内で低いほうから2番目)	
			エネルギーの効率的な利用の推進による安心・安全なまちづくりを進めるため、地域特性を生かした再生可能エネルギーの利用を促進し、低炭素社会の実現と効率的なエネルギー利用を推進します。	官民協働による再生可能エネルギーの利用の促進と地域単位で自家発電や蓄電を含む効率的なエネルギー利用の最適化を図るシステムの構築について検討します。	再生可能エネルギー活用によるまちづくり協議会会議への参加回数	-	-	-	3		令和2年2月28日、新津商工会議所・越後天然ガス連名による「(仮称)再生可能エネルギー活用による秋葉区周辺エリアの未来ビジョン検討会議」への参画依頼あり。持続可能な低炭素まちづくりに関する連協協定(2022年3月31まで)

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>産学官及び地域等との連携を深めながら、まちなかの活性化や健康づくり、里山の魅力発信、人財育成等をより主体的に行います。「アキハスムプロジェクト」の理念のもとで、秋葉区の特性や魅力をブランド化し、戦略的に発信することにより、地域アイデンティティの醸成を図ります。地域主体による移住・定住促進へ向けた取り組みを支援するとともに、市民活動に取り組む新たな人財を発掘・育成することで、地域・住民主体による魅力あるまちづくりを進めます。</p> <p>地域コミュニティ協議会と連携・協力し、区や地域の課題等について意見交換し、具体的方策・対応を共有・検討します。子どもたちを健やかに育てていくための環境づくりを話し合う教育懇談会を開催します。</p> <p>安心安全なまちづくりを推進するため、区民との協働により、青色回転灯を装着した自動車「青バト」による定期的な防犯パトロールを行い、地域の犯罪の未然防止に努めます。</p> <p>官民協働による再生可能エネルギーの導入と効率的な利用について、民間主導によるまちづくり協議会へ参画し検討します。</p>	

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 0250-25-5711

年度	令和3年度		
組織名(部)	秋葉区役所	組織名(準部・課・機関名)	健康福祉課
組織の目的	区民一人ひとりが、健康で安心して暮らし続けることができるよう、地域住民や関係機関と連携・協力しながら、地域包括ケアシステムの構築や秋葉区の特性を活かした福祉や健康づくりなどの各支援施策、事業に取り組み、「秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画」の基本方針である「人がつながり ともに支え合う やさしいまち」を目指します。		

作成日	令和3年4月1日
修正日	
評価日	

No.	部 区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標					目 標 達 成 状 況	評 価	
				項目(単位)	H30実績	R1実績	R2実績	R3目標			R3結果
1		地域包括ケアシステムによる生活支援として、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、継続的な支援と仕組みづくりに取り組んでいきます。	・認知症高齢者等にやさしい地域づくりの推進 ・認知症に関する知識の普及・啓発	認知症に関する普及・啓発活動実施回数(回)	-	-	-	8			
2	3	「秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画」の理念を広く区民に周知・普及しながら、地域住民や関係機関と連携・協力しながら、健康づくりや福祉課題を解決する取り組みを推進します。	・障がい者への理解を広げ(つながる)、仲間づくり(つなげる)の推進(つながる支援ファイルの作成・配付、保護者支援の講座の開催)	つながる支援ファイル利用者数(人)	-	87	141	160		・つながる支援ファイルとは、医療・保健・福祉・教育・労働など各機関の支援を1冊のファイルに記録し、経年的に管理し、保護者が所持するもの	
			・身近な子育て支援の充実(子育てサロン・パパママ子育て講座・BP2・パパママ銭湯・デイケアルームなどの開催)	子育て講座等の開催回数(回)	-	122	126	130		・目標の回数は、子育て支援センター「新津育ちの森」や新津健康センター等で実施する子育て講座	
			・フレイル予防事業(予防教室・講座、各地域での予防普及啓発・支援など)	フレイル予防事業の参加延人数(人)	-	1,660	801	850		・目標数は、フレイル予防教室・講座、地域イベントでのフレイル啓発事業への参加延人数	
3		窓口サービスにおける市民満足度のさらなる向上を目指します。	・各係の業務からテーマを設けて課内研修会を実施	研修会実施回数(回)	7	7	8	7		・各係(担当)1回以上の実施	
4		継続的に業務改善を実施し、効率的・効果的な市民サービスを行います。	・各係で業務や窓口等における継続的な業務改善を実施	改善実践報告の件数(件)	21	21	21	21		・各係(担当)3件以上の取組	

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>地域包括ケアシステムによる生活支援として、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、認知症高齢者等にやさしい地域づくりを推進します。認知症に関する知識の普及啓発を図り、区民や地域の団体等とのネットワークづくりから区民協働による「認知症高齢者と支える家族にやさしい秋葉区」を目指します。</p> <p>「秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画」の理念を広く区民に周知・普及しながら、「人がつながり ともに支え合う やさしいまち」を目指し、地域住民や関係機関と連携・協力し、秋葉区の特性を活かした、高齢者・障がい者・子育て・健康づくりなどの各支援施策、事業に取り組みます。</p> <p>子育て支援では、新たに、産後のリフレッシュ事業として、パパママ銭湯やデイケアルームを実施するほか、子育てサポーターによる訪問事業を開始し、妊娠期からの母子を支援します。また、子育て支援センター「新津育ちの森」は、新津健康センターへの移転に合わせて事業内容などの検討を行い充実を図ります。</p> <p>窓口サービスにおける市民満足度のさらなる向上を目指し、職員のスキルアップを目指す研修会や継続的な業務改善を実施し、効率的・効果的な市民サービスを行います。</p>	

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) _____

年度	令和3年度		
組織名(部)	秋葉区役所	組織名(準部・課・機関名)	産業振興課
組織の目的	区の特徴である「鉄道・花・里山・石油」のキーワードと関連する施設を活用し、交流人口の拡大を図ります。また、関係団体と連携して地域経済の活性化と賑わいのあるまちづくりを進めるとともに、地域の特性を踏まえた農業政策を推進することで、地域農業の持続的な発展を目指します。		

作成日	令和3年4月1日
修正日	
評価日	

No.	部 区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標					目標達成状況	評価	
				項目(単位)	H30実績	R1実績	R2実績	R3目標			R3結果
1	4	里山の魅力発信や里山と結びつけたまちなかの活性化、次世代につながる環境教育を行います。	・里山未来創造事業	Akihaマウンテンプレーパークの参加者数(子供参加数)	1,802	1,907	プレーパークの実施	1,500		令和2年度実績 26回1,098人 令和3年度は35回実施する	
		地域資源を活かし、秋葉区の交流人口の拡大を図ります。	・里山3施設管理運営 花の湯館 石油の世界館 里山VC	里山3施設による連携事業数	—	—	—	2		R3年度より3施設の指定管理者が同一事業所に統一されたことを受け各種事業を実施する	
			・秋葉「鉄道物語」 ・磐越西線SL定期運行推進協議会 ・阿賀野川ライン観光協会	磐越西線・阿賀野川沿線自治体及びJRとの連携事業数	—	4	2 (代替事業を実施)	代替2事業		令和元年度事業の代替事業を実施する	
		・アキハ花一番PR事業 ・園芸推進費(既存事業)	秋葉区内花き関連団体連携事業数(新潟県花卉出荷組合・新潟県花木振興協議会・新潟県立植物園・花夢里・新津FL・うららこすど)	—	—	—	5		現在、各団体と連携して行っている花卉・花木振興事業を新しい生活様式に合わせて展示PRを中心に実施する		
2		小学生向けのプログラミングによる養成講座開設を通じて秋葉区の将来を担う社会起業家を育てます。	・社会起業家発掘・養成事業	社会起業家発掘・養成事業入門編参加者数	—	—	—	15		地元企業や大学生のかかわりを通して社会起業家発掘・養成事業を小学生を対象にして実施する	
3		「もち麦」を核に、農業・福祉・健康づくりの各分野で様々な取組を展開します。	・Akihaもち麦プロジェクト推進事業	もち麦販売促進事業数	—	—	5	5			
				区内産もち麦の取り扱い店舗数	8	18	26	26			

取組みについて(今年度重点的に取組み内容や目標設定の考え方など)	取組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>Akihaマウンテンプレーパークは新型コロナウイルス感染症対策を行う中で昨年度の途中から再開。1回あたりの参加者数(子供参加数)が一昨年度を上回るなど、屋外での活動に一定の需要がありましたので、今年度は年度当初から実施し、昨年度を上回る参加者数を設定しました。</p> <p>里山3施設による連携事業は、今年度より指定管理者が同一事業所になったことを受け、施設の管理運営での連携事業に取り組むものです。特に、情報発信、誘客での事業連携に努めます。</p> <p>磐越西線沿線自治体及びJRとの連携事業は、一昨年度実施した鉄道まつり等の代替事業で買い物促進事業「鉄ふら」をさらに充実させていきます。また、新津駅前観光案内所を活用し、SLばんえつ物語号や四季島などの誘客列車との連携や阿賀野川ライン協会との連携を行っています。</p> <p>秋葉区内花き関連団体と進めてきた花き・花木振興事業を地場産業の育成の観点からもさらに充実させて実施していきます。特に、遠方市場への輸送費助成や地元生産の花き・花木による各種園芸事業への参画は組織と連携し積極的に行っていきます。</p> <p>社会起業家発掘・養成事業(入門編)は未来の起業家を育成する観点から、地域の企業や大学と絡ませ、今年度より小学生を対象としたプログラミングを中心とした内容にしていきます。また、他の組織でも同様の事業がある場合は連携するなどして事業の充実を図ります。</p> <p>Akihaもち麦プロジェクト推進事業は引き続き実施し、事業の充実を目指します。</p>	